

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第五十七話

「帰農期成同盟入植の話(語り)」

(要約文)

私の夫は、御料牧場時代は獣医をしていました。山の方の担当なので里平や元神部(現東川)、スネネイ(現若園)に行つては病気の馬を治療していました。私自身は、御園(静内)の牧場で生まれましたが、戦後になって大富に入植することになりました。入植した当時は、牛を飼っていました。夫は、御料牧場解放地に入植を進めるための「帰農期成同盟」を組織していましたから、その仕事で家をあけることが多い。そのため、牛の乳を搾ることを近くのおばさんに習つて仕事を覚えたものです。また、入植直後は土地が狭かつたので附帯地として山の上の土地をもらい、笹をひっくり返して畑として耕しました。木を切り倒して根を焼き、それを繰り返して開墾しました。大富の人達は、御料牧場時代に牧場の小作として働いていた人がほとんどだから、やはり入植する権利があるでしょう。でも、そんなに良い土地ではなくて谷地なものだから田んぼ作りもしました。それでもぬかつてしまうような土地なので、大きな玉砂利を馬車で拾ってきては田んぼに入れる作業をしました。生活は本当にゆるくなかつたね。よく生き延びてこられたと思いますよ。そのような中、私達女性がこの地域で何かできないものかと婦人部を結成しました。

ただ集まっていたような部でしたが、お祝い事があるときは取り仕切つてやつていました。その祝い事に使う瀬戸物を随分集めたものです。御料牧場の建物が残つていたので、入植後は地域の倉庫として使つていました。でも、ヘビやネズミがいるのを見たものだから、本当に気持ち悪くて嫌でした。

入植後の二、三年は、畑といつても満足に作物とれなかつたので、本当に不自由な生活をしていました。このときは息子が赤ん坊だつたけど、食べる物がなないものだから、私のお乳が出なかつたのです。それで赤ん坊が泣いてね…。石鹸もなかつたし、それまで農業をしたことがなかつたからとても大変でしたよ。子供も大勢いて、戦争終わったばかりでしょう。子供達を食べさせるのに農家になれば心配ないと思つていたけど、生活はなかなか安定しない、惨めな思いはさせたくない、腹いっぱい子供に食べさせてやりたい。こんなに苦勞しなくてもいいのにと、その時は思つていたのではないかしら…。



姉去(現大富)にあった御料牧場の詰所。戦後になつてもしばらく残つていたという。

夏の交通安全運動(7/13～7/22)が実施されます!

- 飲酒運転の根絶
- バイク・自動車の交通事故防止
- スピードダウンと全席シートベルト着用
- 子供と高齢者の交通事故防止

静内警察署

火災・救急出動状況		() かつこ内は前年同期	
区分	火災件数	救急件数	
5月	1件(1件)	32件(26件)	
5年1～5月	3件(5件)	139件(142件)	
交通事故発生状況		() かつこ内は前年同期	
区分	発生件数	死者	傷者
5月	0件(2件)	0人(0人)	0人(2人)
5年1～5月	1件(4件)	0人(0人)	1人(6人)

人のうごき

(5月末現在)

人口	5,176人	(前月比 - 19人)
男	2,583人	(前月比 - 6人)
女	2,593人	(前月比 - 13人)
世帯	2,817世帯	(前月比 - 9世帯)

戸籍の窓

4月21日～5月20日までの届出分(敬称略)

●いつまでもお幸せに

上井 大知 ♡ 西浦 かなえ 本町
船田 拓磨 ♡ 櫻庭 麗実 東町

●お誕生おめでとうございます

伊藤 璃紅(翔悟 理愛) 北星町
加藤 壺桜(夢二 真知子) 本町

●おくやみ申し上げます

辻 和明 85歳 大富
牧野 竹子 93歳 大美
齋藤 功光 94歳 北星
海 博光 74歳 節婦
武田 英二 60歳 高本
小堀 恵 90歳 本共
西野 正見 89歳 江町
福井 八子 82歳 本共
佐々木 美恵子 95歳 北星
中村 ユキエ 97歳 大富

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112